

## 1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成27年 2月28日

## 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	469000781
法人名	社会福祉法人 翔風会
事業所名	グループホームつわぶき
所在地	鹿児島県鹿児島市喜入町6987番地 (電話) 099-202-0080
自己評価作成日	平成27年1月15日

※事業所の基本情報は、WAMNETのホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.wam.go.jp/">http://www.wam.go.jp/</a>
-------------	---

## 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人NPOさつま
所在地	鹿児島県鹿児島市下荒田2丁目48番13号
訪問調査日	平成27年2月20日

## 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

- \* 院長を息子に交代(けんこうフェスタ第1回開催大成功)
- \* 主治医は厚生省が定める 認知症対応型サービス事業開設者。
- \* 係り付け医うつ病対応力向上
- \* 係り付け医認知症対応力向上
- \* Drがマジックショーで入居者や家族地域住民を楽しませてくれて、鑑賞者を笑いや笑顔にしてくれます。
- \* 毎年小さい畑にゴーヤ、カボチャを植えて、緑のカーテンが3階まで癒し又調理で楽しんでいます。
- \* 地域の夏祭り(花火)施設の屋上から観覧できます。
- \* 敷地内にDr住宅があり、いつでも入居者の状態受診が出来ます。去年からは息子Drが近隣住宅が建設され、入居者の緊急時の対応が可能になり入居者本人や家族も安心しています。
- \* けんこうフェスタで1歳児から後期高齢者まで参加、イベントを行う。
- \* ホームの周囲は小学校・支所・交番・郵便局・図書館・商店等がありとても環境に恵まれています。

## 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・当ホームは、隣接した母体の医療機関や駅、バス停など利便性がよい住宅街に位置しており、正面に小学校、周辺には、交番、郵便局、銀行、大型スーパー、市役所(支所)などがある。また、屋上からは、町全体から海岸線まで一望できる。
- ・5階建ての複合施設になっており、1階がホームになっている。地域の方々と交流ができるように、イベントや講習会ができる専用の部屋も隣室に設けており、利用者や家族も地域との交流活動に積極的に参加している。
- ・協力医療機関は母体病院でもあり、24時間医療連携が整っている。主治医は、担当者会議に参加し医療的見地からの意見を述べるとともに、利用者や家族が参加するなど会議も充実しており、日程は家族の都合に合わせるよう配慮している。
- ・昨年「24時間シート」に取り組んでおり、個々の生活の実態を含めた情報すべてから必要な情報を抽出し、アセスメントやモニタリングなど、介護計画作成の根拠を示す手立てとなっており、有効活用して日々のケアに取り組んでいる。
- ・ホームは、内部や外部の研修会への参加など研修体系が整備されており、管理者は職員の能力を把握し、資格取得やスキルアップを図るため、研修会や事例検討会などへの参加を促し、育成にも力を入れている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	毎朝その日のリーダーの掛け声で理念を唱和しています。職員会議、議長の掛け声で理念を言う。運営推進会議の報告書に理念を記載。	人格の尊重、思いやりの精神、地域に開かれた施設といったホームの理念は、毎朝職員全員で唱和している。また、理念に沿った職員一人ひとり独自の理念を掲げ、共有してケアの実践につなげている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している	集落入会継続、地域清掃や祭り、毎年参加しています。防火訓練や運営推進会議に地域住民も参加してくれています。	自治会に加入し、清掃活動やお祭りへの参加などの地域の行事への参加や、ホームの行事（健康フェスタ・門松作り・餅つき）、認知症やグループホームの理解などの啓発活動は、自前の講座を開催して地域の方々に参加してもらうなど日常的に交流している。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている	運営推進会議でホームの報告小学生にホームで生活している入居者との触れ合い体験学習、地域高齢者にグループホーム・認知症について説明を行いました。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	理事長が認知症、流行性感冒・食中毒等予防など、これからの行政等説明交番は交通ルール、自治会高齢者、地域行事等の話し、防火訓練について、包括支援センター地域高齢者の現状、入居者の現状説明。	定例化された会議は、年間の予定があらかじめ計画されているため、メンバーの参加の状況は良好で、家族も会議への参加に協力的である。意見・情報交換を受けて、出された意見をケアに活かし、改善策を講じるなどサービス向上に努めている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる</p>	<p>介護保険更新・生活保護課期日前投票・おむつ申請 介護相談員調査受け入れ 気付く頂いています。</p>	<p>市担当者、地域包括支援センター、福祉事務所とは、協力関係を築くとともに、介護相談員の受け入れも行い、利用者や家族の疑問や不満、不安など問題解決に向け、サービス向上などに役立っている。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>毎月の勉強会の中に拘束廃止に向けている所です。点滴施行時も身体拘束をしない。 どうしても命に関わる事態が起きたら家族への説明、相談をし了解、同意書を得たいと思っております。</p>	<p>扉は施錠せず、やさしいチャイム音が往来を知らせてくれる。毎月、「認知症専門ケア会議」を開催し、職員全員で、身体拘束の弊害について学び、カンファレンスなどで個別の対応について話し合いの機会を設けて、身体拘束をしないケアについて取り組んでいる。</p>	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>毎朝理念に沿って介護をしていきましょうと話しますが、入居者の言葉に対して傾聴関わり不足が一部あり、話し合いをして良くなっては来ています。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している</p>	<p>個々違う入居者を尊重し 本人のペースに合わせた生活をして頂けるように毎月カンファレンスや認知症勉強会施行しています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得  契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入居前にホーム見学を本人家族が納得された上で入居契約を行っております。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映  利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	入居者個々に受け持ち担当者が居ります、本人、家族が要望を言いやすいようにしています。全スタッフが把握できるように連絡ノートで確認をしております。	利用者や家族には、担当職員を中心にして意見や要望を聞く機会を設けているが、家族には、年1回アンケート調査も実施している。実際に言葉の使い方について改善が図られた事例がある。管理者は、担当者や家族の関係性に着目し、連絡ノートを活用して、職員全員で情報を共有してより良いサービスの向上に活かしている。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映  代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	施設長の言葉を業務日誌に記載して全スタッフに申し送り・毎月の全体会議や職員会議で意見交換が出来るようにしています。勤務状態再検討で勤務の流れは良いようです。	管理者は、職員からの意見や要望など日常のケアの中や毎月の全体会議、職員会議を通じて意見が出しやすい雰囲気作りに努めている。職員の定着率も高く、職員の関係性に配慮するなど、職場環境の整備を図っている。	
12		○就業環境の整備  代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	新しい環境にも馴染んで仕事もスムーズです。記録もスタッフ全員がパソコン入力です。現在は時間がかかっていますが、来年は時間短縮になりケアにゆとりが出来ると思います。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>スタッフに応じて研修を頑張ってもらっています。1日の勤務を把握し入居者とのコミュニケーションが履かれるよう話し合っています。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>谷山地域グループ勉強会に参加 浜田グループ会議・翔風会全体会議後色々な研修・地域研修会・医療法人グループホームはまゆう交流。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>入居前の生活状況、既往歴を十分に把握してケアに尽くし、本人や家族の訴えを傾聴し、答えています。家族の要望を取り入れ、ホームから家族に報告、書面で理解を求めています。</p>		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>個々の状況説明、受診、検査等報告、月々の提出書類・金銭管理確認をもらっています。家族アンケート要望などを取り入れ、スタッフ全員で取り組んでおります。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>本人・家族担当者会議を設けて家族の要望を聞き入れ、対応できるように全スタッフに通知しています。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>入居者の希望、要望、アンケート取り、カンファレンスで話し合い検討・個々に受け持ち担当者へ何でも話されるように家族へ説明しています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族アンケートや入居者個々に受け持ちスタッフをもうけて、家族の要望など、いつでも受け入れています。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	在宅で生活してきたように、本人にとって馴染みの物は居室内にタンス・仏壇・布団・ベッド他、本人と話し合って設置しています。	ホームは、地域交流室を活用して、地域や友人、知人などに馴染みの方々と交流の場を提供している。また、家族と一緒に墓参りに出かけたり、ホテルに宿泊する利用者もいる。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	いつでも利用者同士が貝はしたり、共同作業が出来るように、場所を提供しています。野菜を植えたり、収穫したり、干し大根作業を共同で又は一人で出来るように支援。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	何かの縁で入居されたことを大切にしながら、退所後も交流をさせて頂いています。花の苗、車椅子、Pトイレ、食器、果物等を頂いています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	一人ひとりの希望や要望、アンケート等、常に訴えを聞き入れています。	本人には、日常の生活の中で思いや希望、要望など聞き取り、家族にも面会や電話などで確認するように努めている。担当職員を中心にして、カンファレンスで意見交換し情報を共有して、本人の思いや意向の把握をしている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	一人ひとりの性格や認知症に合わせて、環境を整え、思い思いの過ごし方を支援。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	それぞれの本人のペースに合わせて、ケア・食事・自由を提供しています。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	24時間シートを作成して個々のケアを記録や本人、家族の思いを検討、課題分析してみました。自分が思う理念とチームで思う理念を作成しケアに頑張っています。	昨年からは始めた「24時間シート」の活用、「ケアチェック表」からアセスメント、課題を分析した上で、介護計画を作成している。モニタリングは、6カ月に1回実施。個別カンファレンスで話し合い、担当者会議は、家族の日程に合わせて日程調整し、主治医も毎回参加して医療の情報、病状説明など話し合う機会を設けている。	



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>業務日誌・チェック表・経過記録・入居者一覧表・連絡ノート作成して全員が把握できるようになってきました。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>毎月カンファレンス施行・家族に要望にも気持ち良く受けいれています。誕生日会、家族行事病院受診、家族も協力しあって送迎、対応しています。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>地域の住民に相談して散歩時に敷地内の見学や話し合い、小学生の学習発表会、下校時間に散歩小学生見守り、公共機関・門松、餅つき、入居者全員にマフラー手編みを頂く。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>本人や家族の希望する係り付け医に受診している。域地内にある医院24時間医療体制が来ています。息子医師が院長になり適切な医療が来ています。</p>	<p>かかりつけ医は、本人、家族が希望する医療機関となっている。外来受診は、職員が対応、家族にもできる限り同席してもらっている。主治医は、認知症サポート医であるため、認知症状の悪化や内服薬の相談など適切な医療が受けられるよう支援している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとれた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>入居者に異常や状態不明時は看護師に報告、指示を受けています。医院や施設の看護師とも連携を取っています。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている</p>	<p>入退院時は情報提供をし、入院途中面会し、状態把握やDr・ソーシャルワーカーの説明・家族の意見を受け送迎に協力しています。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>看取り介護についての望(要望)確認書で説明、同意を頂いています。</p>	<p>入所時に重度化や看取りについての指針をもとに説明し同意をもらっている。また、段階に応じて「看取り介護についての希望(要望)確認書」にて、具体的な延命措置についても書面にて説明し同意をもらい、主治医、関係機関と話し合い、ホームで対応し得るチームケアに取り組んでいる。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>院長の指導で急変者の時対応法を実際に心マッサージ・AEDを使用して研修し、今回心停止がありテキパキ救急処置をして回復しました。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>火災、夜間想定、風水害、地震と地域の方々にも訓練や避難誘導をして貰いました。入居者は全員部位化頭巾をかぶり頭部保護、タオルを口元に充てて避難訓練、スタッフ1部はヘルメット使用する。、</p>	<p>夜間想定・地震による火災想定・台風、水害想定避難訓練を年3回実施している。地域の協力体制、法人内の協力体制も構築されている。頭巾や専用タオルのほか、ヘルメットの装備、備蓄なども完備している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	入居者を尊重し、都度ドアを閉めての排泄介護に専念しています。時に便は出ましたかの声が聞こえてくる、入居者に難聴の方もおられるので、検討中です。	利用者を年長者として敬い、常に丁寧な言葉使いを徹底している。苗字をさんづけで呼びかけるが、老人性難聴の方の排泄などの声かけには、他利用者に配慮し工夫しながら対応している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	個々に受け持ち担当者がいて本人の要望や家族に意見など聞いています。まず入居者に報告し決定してもらっています。課題を出し、いつするのかしたくない。聞いています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	まず今日の日程などを話し、一人一人のペースが違うので本人に合わせています。やりたいことは、何でしょうか、遊び、レクリエーション・作業・調理・行事・散歩等		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	おしゃれ入居者は自力で服選び、散髪、髪カット、髪染め、本人の希望で施行しています。服、パジャマ本人に選んでもらっています。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食器は家族や友人、地域の方々から頂き、陶器を使って、在宅の気分になれるように、調理も入居者に切って貰ったり盛り、付けに気を付けています。	献立は、管理栄養士が作成し、利用者のリクエストが反映されている。食器の工夫、食事の準備を手伝う方、芋もち、だんごなどのおやつ作り、外食は全員で出かけ楽しんでいる。また、誕生会は、家族の都合に合わせて利用者と一緒に食事してもらっている。地域の方から差し入れもあり、プランターで葱、水菜、ブロッコリーを栽培し調理にも活用されている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	管理栄養士の献立に沿って調理、栄養バランスは良いです。食事の摂取状態に合わせて、作っています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	歯科医、歯科衛生士の指導を受け、食後は歯磨きを施行しています。個々に合わせた、口腔ケアをしています。歯の検査に来るから綺麗にしていましようかと歯ブラシセットする時もあります。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	夜間でも出来る限りはトイレ排泄を促しています。トイレで排泄をして見ましよう出来た時は褒めたりしています。	排泄チェック表を活用し、排泄のリズムを理解した上で、声かけ誘導する方やタイミングを図り、トイレで排泄ができるよう支援している。センサーマットを使用して転倒防止するなど排泄の自立支援も行なっている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	毎日水分摂取量を確認記録して水分補給に努めています。便秘症の入居者は個々にあっている下剤与薬をしています。Drが排便にも厳しく指導します。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	3年にもなると入浴拒否が無くなってきました。会話しながら入浴介助を行っていることがいいのでしょうかと思います。	浴室は、広々としておりリフトバスが完備されている。また、汚物処理などは扉で仕切られ視線に配慮している。職員は、2人介助で入浴支援をおこなうなど安全・安心な入浴タイムが楽しめるよう個々に応じた支援をおこなっている。また、脱衣場との温度差がないよう工夫もされている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	帰宅願望が有る時、妄想が強い時は中々眠れていませんが、スタッフの傾聴で穏やかになって良眠しましたの送りが多く成って来ている。眠剤は使用してない。		
47		○服薬支援 一人ひとりを使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	カレンダー式にし都度内服を取って貰い日時も記憶出来て良かったのですが日時を間違えて薬を取り始めて中止しています。最初は居室に貼っていたが、次リビングで行っていたが現在むり。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	日めくり、カレンダーはずし、毎日新聞を読む事、食事他アンケートを行う、畑の肥料指導。野菜収穫、調理施行。ゴーヤキンカン漬けその他。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	年間行事にのっとり施行 施設周囲の散歩 初詣・花見・ドライブ 地域の行事参加 隣のグループホーム 施設内の特養、屋上散歩 入居者は家族と共に外食や買い物・祝い事出かけております。	散歩は、小学生の下校の時間に合わせ出かけたり、個人のお宅の花畑を見に行くなど地域との交流も視野に入れ対応している。家族とは、墓参りや買い物に出かけたり、初詣や花見、ドライブなどは年間の行事計画に位置づけて実施している。また、施設の屋上に上がり景色を一望したり、毎年の町内の花火大会を見学するなど楽しんでいる。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	所持金を持参している入居者もいます。確認を家族にして貰っています。小遣金として預かっています、本人が希望があれば家族の了解をえて使用可能。		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	入居者の希望でいつでもTELは可能・携帯です話す入居者もいます(堀様)(前畑様)他者はTELや手紙代行をしています。		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激(音、光、色、広さ、湿度など)がないように配慮し、生活感や季節感を取り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	居室は本人と話し合いをしながら、カレンダー、写真、飾り物置物をしています。リビングは共同作成したものを掲示。季節の花を飾ったり、季節を感じるように壁に手作り花・葉の色を変えています。	施設1階に位置するホームであり、扉を入ると、食堂兼居間があり思い思いにくつろげるようソファも設置してある。オープンキッチンで開放感があり、五感を意識した共有スペースになっている。壁には、利用者や職員を紹介した写真や利用者の作品が掲示されている。採光もあり、天井には専用差込が工夫してある。	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	ソファに浅眠、腰掛けくつろいだり、会話やテレビ、新聞、洗濯物たたみ、調理、家族との面談をしています。テーブルが広いので作業が出来ます。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>居室は東、南向になっており、窓が大きく、日当たりもいい居室でも自由に過ごされています。</p>	<p>テレビ、整理タンス、ホットカーペット、仏壇、加湿器など馴染みの物を持ち込んでいる。心身の機能低下などに配慮し、特殊寝台を貸与するなど利用者が安全に生活しやすい環境整備に努めている。また、趣味の作品に囲まれ居心地よい部屋で過ごせるよう対応している。</p>		
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>床素材をテフシートクッションを使い歩行にも衝撃を受けない床、壁を木目にして目にも優しい落ち着いた環境材です。居室ごとに空気清浄器使用し、室内が快適に過ごせます。温度・湿度計設置。</p>			



## V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)		1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30,31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9,10,19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9,10,19)	○	1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は，生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て，利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て，利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

